

R01年度 職員による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

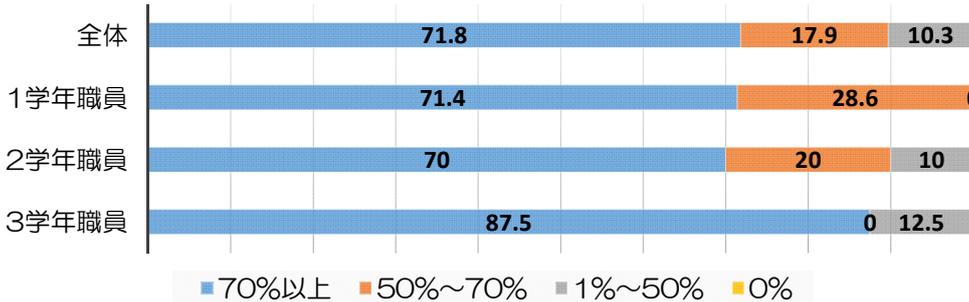
R01.2月実施

Q1:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか

※学年所属なしの先生方の回答は、全体集計に含まれています。

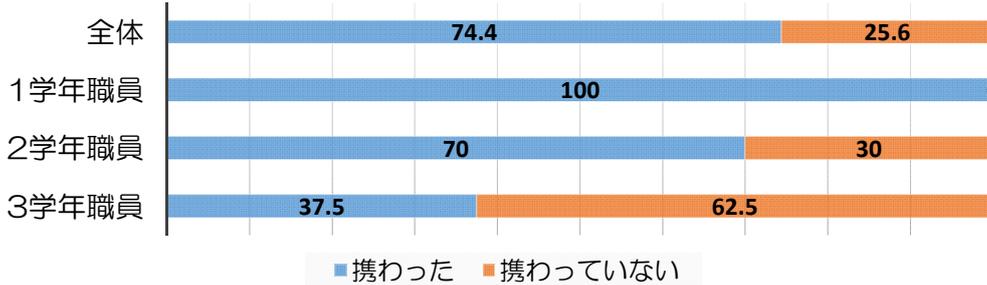


Q2:今年度のSSH事業をどの程度知っていますか



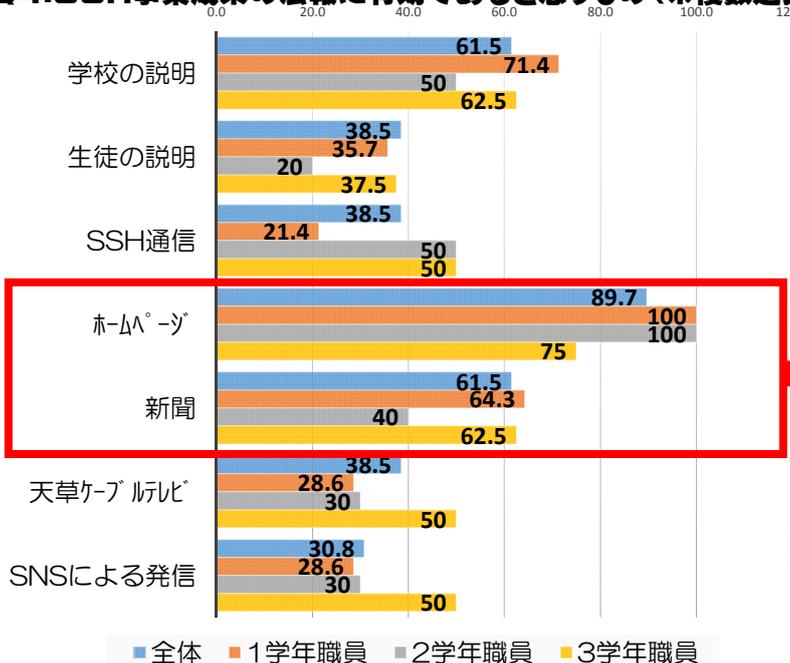
SSH事業も多種多様となったため、周知が難しくなっています。特に、外部発表に関する取組の周知を徹底していきたいと思えます。

Q3:SSH事業に携わりましたか



昨年度同様の数値結果でした。3年目なので、100%と行きたかったところですが、これは、ASⅡとASⅢを同時帯に実施し、担当者もテーマごとに、同じとしたためです。

Q4:SSH事業成果の広報に有効であると思うもの(※複数選択可)



研究成果の広報はSSH事業に含まれます。ホームページを、ほぼ毎日更新しました。また、科学部海水準班の世界大会進出や、天草サイエンスアカデミー等、昨年度よりも多く新聞記事に取り上げられました。外部に発信することで、生徒・職員の思考が外向きに代わり、地域に対する貢献もできると考えます。

Q5:生徒の科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか

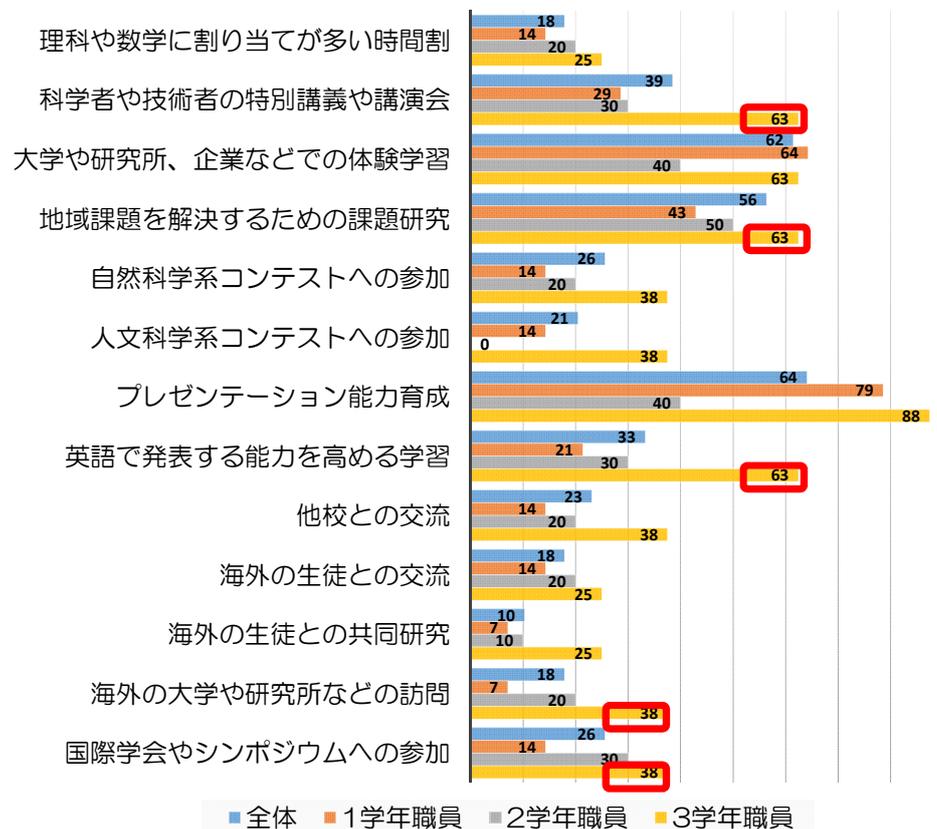


SSH事業が生徒の役に立っているかという問いです。質問は変えず、回答項目を変更しています。SSH事業を通して、科学技術への関心が高まっていると感じるようです。1年生の学習意欲向上に課題が残りました。

Q6:生徒の科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか

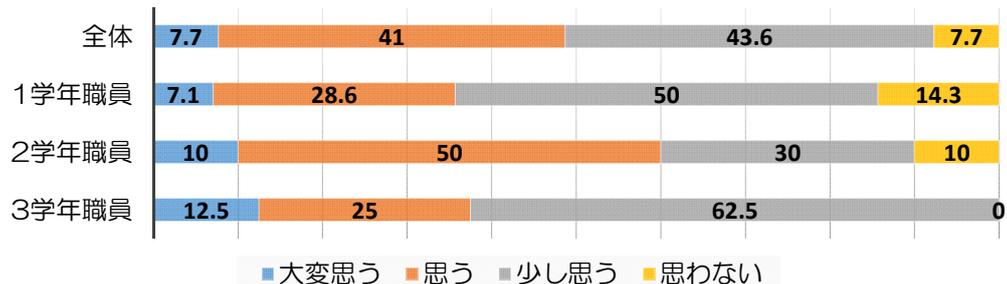


Q7:天草高校SSH事業に求めること



黄色のグラフに着目してください。3学年の先生方からの回答です。昨年同様、体験学習や課題研究、外部発表の機会など、生徒の活動の場が多くあることを求めるといった回答となっています。やはり、受験期にも、そのような力が求められていることがわかります。また、他校生徒の交流は、今後も事業の中に取り入れ、継続していきたいと思います。

Q8:SSHが指導力向上に役立つと思いますか



今年度、授業改革や課題研究の指導法という職員研修を実施しました。探究の視点を全職員が共有し、全教科を通して指導することを今後も周知していきたいと思います。